

平成19年度 文部科学省 **社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム** 選定事業の概要

潜在的歯科衛生士の再就職促進のための 教育・研修・スキルアッププログラム

事業担当者 山田 隆文 (歯科衛生士学科)

事業の概要

毎年、新卒歯科衛生士数は歯科医師の約3倍であるが、就業者数は歯科医師数を下回り、離職率も他の医療職の看護師等より高く、就業期間も短い。

現状では、求人は多いが、再就職率は非常に少なく、歯科医療界での慢性的な人材不足を助長している。

原因として、離職後の、歯科医療技術の進歩による知識的・技能的ブランクなどが考えられる。

従って、本プログラムの対象は、結婚・出産・育児等

による潜在的歯科衛生士（歯科衛生士の資格は有しているが現在は就業していない者）である。

この再就職を促進することで、国民の歯や口腔の健康維持・増進、さらに、高齢社会等への対応（要介護高齢者、障害者への口腔介護）、医療費の経済効果なども期待される。

プログラムは、離職中のブランクを補完するために、診療補助等の知識的・技能的な再研修の場を提供する。

特に、2年制の専門学校・短期大学を卒業した歯科衛生士に、3年制移行後の新しいカリキュラムの受講を積極的に促し、離職後導入された新しい知識・技術・資格（介護支援専門員等）取得等によるスキルアップを行うことで、地域の歯科医師会、介護保険施設等との連携により働きやすい環境整備のコーディネートを行う。